

オンライン国際交流で実践的コミュニケーション力を高める

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立宝塚西高等学校 竹森 康祐

<p>本時の目標</p> <p>・これまで国際教養コースで培ってきた英語力を活かし、ニュージーランドの高校生とオンライン交流をする。 ・継続して行っている相手なので、これまでの関りをより深めるような会話をする。</p>	<p>校種・学年</p> <p>高等学校・3年</p>
	<p>教科・領域</p> <p>外国語(英語)</p>
	<p>アプリ・ソフト</p> <p>・Google Meet</p>
	<p>備考</p>

○本時の展開

	○学習活動 (◆指導上の留意点)
導入	<p>○積極的に会話を楽しむことを確認する</p> <p>◆タブレットを立ち上げ Google Meet に入る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ニュージーランドの高校生とオンラインで交流しよう</p> </div>
展開	<p>○グループで相手校と会話をする。</p> <p>◆相手の話を受けて、広げて返すことを全員に意識させる。</p> <p>◆相手が話したくなる質問をこちらから投げかけることを意識させる。</p>
まとめ	<p>○簡単に振り返りをクラスで行う。</p> <p>◆相手の文脈に沿って話すことで会話が繋がり広がることを再確認する。</p> <p>◆相手が話したいことについて質問を上手にすることで話が盛り上がることを再確認する。</p> <p>◆英語で実際に誰かと話す楽しさを再確認する。</p>

育成できる情報活用能力

◎オンライン会議システム (ZOOM・Google Meet 等) の選択・ツールの操作を習得することができる。

育成できる情報活用能力

◎複数対複数の形で、自由に会話をするスタイルで合っても、ウェブミーティングツールで十分に対話を楽しむ技法を身に付けられた。

育成できる情報活用能力

◎実際に英語で外国の方と話す経験を積み重ねることで、英語での会話の広げ方について実践経験を高められた。

生徒の感想
<p>・昨年度から様々な国の高校生とオンライン交流を行ってきて、ニュージーランドの高校とも継続的に行ってきたことで、英語を話すときにはまず積極的に発話することが大切であることが分かった。</p> <p>・使おう、伝えようとする姿勢が最も大切であることを体感することができた。</p>

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・オンラインシステムを使うことで遠く離れた外国の方と英語で話す経験を継続的に行うことで、実践的なコミュニケーション力を高めることができた。
- ・普段の英語学習への大きなモチベーションにもなり学力向上にもつながった。

Google フォーム・ドキュメントを用いた英作文課題の提出と添削

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立姫路商業高等学校 瓜生万美子

<p>本時の目標</p> <p>・3年生の卒業考査に向けて、Google フォームまたは Google ドキュメントを適切に活用して考査範囲の英作文を入力し、確実に提出できるようにする。 ・英文のデバイス入力に慣れる。 ・添削された各自の解答を基に学習を進める。その際、他メンバーの英作文も参考にすることにより、新たな発想等に出会い、英語学習に対してさらに理解を深める。</p>	<p>校種・学年</p> <p>高等学校・3年</p>
	<p>教科・領域</p> <p>英語</p>
	<p>アプリ・ソフト</p> <p>・Google フォーム ・Google ドキュメント ・Good Notes</p>
	<p>備考</p>

○本時の展開

	<p>○学習活動（◆指導上の留意点）</p>
<p>導入</p>	<p>卒業考査に向けて英作文の力を鍛えよう。 英文の PC・スマホ入力に慣れよう。</p> <p>○Google Classroom の授業クラスページを通じて課題を配信する。(冬季休業中) ◆生徒の使用デバイスに応じて最適な提出方法を選択できるように、2つの様式 (Google フォーム・Google ドキュメント) を準備する。</p>
<p>展開</p>	<p>○2つの様式から選択し、デバイスから各自で解答を入力し、課題を提出する。 ◆質問等は Classroom を通じて随時受付け、納得いくまで何度も提出できるようにした。</p>
<p>まとめ</p>	<p>○Classroom にアップロードされた添削済みの解答を確認し、学習に役立てる。 ◆Good Notes 等のアプリを使用して提出済み課題の添削・編集を行い、Classroom 上にアップロードして自分以外の添削も自由に閲覧できるようにした。</p>

育成できる情報活用能力

◎Google フォーム・ドキュメントを適切に活用し、指示通りに課題を提出できるようにする。



◎まとまった量の英文の PC・スマホ入力に慣れることができる。

生徒の感想
<p>・端末で入力から提出まで済ませることができるので、空き時間を利用して課題に取り組むことができるのがメリットの一つである。</p>

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・まとまった量の英語を手書きするだけではなく、PC やスマホのキーボードを使用してスムーズにミスなく入力するための力を育成できる。
- ・英単語やイディオムをより強く定着させることを目指す。